⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

→

- **電源「切」にする**
- **電源プラグやi.LINKケーブルを抜く**
- **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

⚠警告 下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。
- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない、また水の入った物、花瓶などを製品の上に置かない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源「切」にし、電源プラグやi.LINKケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

むやみに内部を開けない

開けたり改造したりすると、火災、感電の原因となることがあります。内部の点検、修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

雷が鳴り出したら電源プラグおよびi.LINKケーブルに触らない

感電の原因になります。

本機は日本国内専用です

交流100Vでお使いください。
海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

⚠注意 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグおよびi.LINKケーブルをさわらない

ぬれた手で電源プラグおよびi.LINKケーブルを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

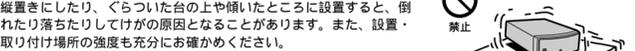
指定された電源コードやi.LINKケーブルを使う

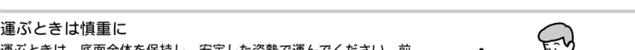
取扱説明書に記されていない電源コードやi.LINKケーブルを使うと、感電や故障の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

本体の底面や後面の通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しを良くするために次の項目をお守りください。
- 壁から10cm以上離して設置する。
- 密閉されたせまい場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや逆さまにしない。

縦置きにしたり不安定な場所に設置しない

縦置きにしたり、ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度も充分にお確かめください。

運ぶときは慎重に

運ぶときは、底面全体を保持し、安定した姿勢で運んでください。前面および後面パネル部分に手をかけて持たないでください。運ぶときにバランスを崩すと本機が落下し、けがの原因となることがあります。また、設置するときは本機と設置面との間に指を挟まないようにご注意ください。

本機の上に乗らない、重い物を乗せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は電源「切」にしてプラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

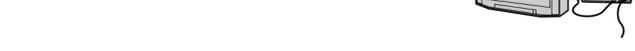
運ぶときは電源プラグやi LINKケーブルを抜く

つないだまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

接続端子はきちんと接続する

i.LINK端子やAC電源入力の端子の内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。

直射日光の当たる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く
コンセントの位置を確認して設置する

本機は電源「切」の状態でも、つながっている他のi.LINK対応機器の信号を中継できるように微弱な電流が流れています。
他のi.LINK対応機器の信号を中継せずに本機を長時間使用しないときは、必ず電源プラグを抜いてください。
コンセントは製品の設置場所に一番近く、抜き差しがしやすい場所を選んでください。

録画や再生中など本機が動作中のときは、i.LINKケーブルを抜いたり、本機やつないでいる機器の電源を切らない

録画した番組が損なわれたり消えたりすることがあります。録画した番組が損なわれたり消えたことによる損害については、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

使用上のご注意

本機の取り扱いについて

本機は、ハードディスクに番組を録画します。ハードディスクには衝撃や振動、ほこりから録画内容を守るための安全機構が組み込まれていますが、録画した内容を失ってしまうことのないよう、次の点をお守りください。
- 衝撃を与えない。
- 縦置きにしない。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しない。
- 電源プラグをコンセントに差したまま本機を動かさない。
- 録画や再生中など本機の動作中は、電源プラグを抜かない。
- 急激な温度変化（毎時10°C以上の変化）のある場所では使用しない。
- お客様自身でハードディスクの交換をしない（故障の原因となるため）。

結露について

本機を戸外など寒冷な場所から室内へ持ち込むと、結露が生じることがあります。そのままご使用になると故障の原因となります。結露が生じたら、電源プラグをコンセントに差しこまずに、本機が室温に暖まるまでお待ちください。

輸送について

輸送の際は本機を梱包していた箱をお使いください。梱包箱は大切に保管してください。

録画内容の補償について

- 大切な録画の場合は必ず事前にためし録りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 本機を使用中、万一不具合により録画・録音されなかった場合の録画内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

著作権保護のための信号が記録されている放送を録画しようとすると、録画動作は行われますが、映像・音声信号は記録されません（コピープロテクション）。あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

本体のお手入れについて

本体表面は柔らかい布で空ぶきします。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液でしめらせた布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

異常や不具合が起きたら

本機は本体前面の電源ランプが消灯していても通電していることがあります（電源「切」の状態）。万一異常や不具合が起きたとき、異物が中に入ったときは、すぐ電源プラグを抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックとご相談を

この取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。症状が改善されないときは、お客様ご相談センターへお問い合わせください。詳しくは、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」または下記をご覧ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、不当な修理や改造による故障や損傷についての修理はお断りいたします。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

修理時の録画番組の保証について

修理時には、録画した番組（データ）が消去されたり壊れたりする場合がありますが、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

部品の保有期間について

当社ではデジタルレコーディングハードディスクドライブの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。
- 型名：VRP-T3
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日：
- お買い上げ店：

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター
● ナビダイヤル …………0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
● FAX ……………………0466-31-2595
受付時間 ：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

SONY

4-098-684-**02** (1)

デジタルレコーディング ハードディスクドライブ

取扱説明書

お買上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

VRP-T3

こんなことができます

本機は、i.LINKに対応したデジタルレコーディングハードディスクドライブです。
本機をソニー製のフラットパネルデジタルテレビ、液晶デジタルテレビ、 LCDプロジェクションデジタルテレビ、トリニトロンデジタルテレビまたは地上･BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーを付属のi.LINKケーブルでつなぐと、デジタルテレビや地上･BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーで受信した番組をそのままの高画質で録画、再生することができます。
録画時間のめやす： HD（デジタルハイビジョン）放送（1125i） 約10.5時間
　　　　　　　　　 SD（標準テレビ）放送（525i） 約31.5時間
なお、本機は通常のテレビ（アナログ地上波）放送は録画できません。

主な仕様

ハードディスク容量

約120Gバイト
（HD放送、SD放送、データ放送、ラジオ放送に対応。データ放送の視聴者参加型番組などでは録画は可能だが投票などの双方向サービスには対応せず）

外部コネクタ

i.LINK S400
IEEE1394準拠、4ピン（2）
ポートへの電源供給なし

環境条件／保存環境

許容動作温度	許容保存温度
5℃～40℃	–20℃～60℃

その他

電源
AC100V 50/60Hz

消費電力
電源「入」時　約12W
電源「切」時　約5W

大きさ
約171×58×305mm（幅/高さ/奥行き）

質量
約2.5kg（本体のみ）

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ちょっと一言
- i.LINKについて詳しくはデジタルテレビまたは地上･BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーの取扱説明書の「i.LINK（アイリンク）について」をご覧ください。
- 本機はDTLA*のコピープロテクション技術に対応しています。放送局が「デジタル録画１回可（コピーワンス）」と設定した番組を本機で録画した場合、他機器にi.LINKでダビングできません。
  さらに、本機とDTLAのコピープロテクション技術を搭載していない機器との間では、i.LINKでデジタルの映像／音声／データのやりとりができない場合があります。詳しくは、デジタルテレビまたは地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーの取扱説明書をご覧ください。

  *DTLA(The Digital Transmission Licensing Administrator)はデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体です。

i.LINKは、IEEE1394-1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ" i "は商標です。

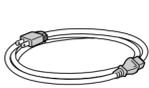
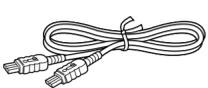
本機には、録画/再生などを行う操作ボタンはありません。
本機の録画/再生などの操作は、つないだデジタルテレビまたは地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナー側ですべて行います。録画について詳しくは裏面の「本機の録画状態について」をご覧ください。

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

付属品を確かめる

梱包箱から取り出したら、以下の付属品がそろっているか確認してください。
付属品の中に欠けているものがあるときは、お買い上げ店かソニーサービス窓口またはお客様ご相談センターにご連絡ください。

- デジタルレコーディング
  ハードディスクドライブ

- 電源コード（1本）

- i.LINKケーブル 4ピン↔4ピン（1.5m）（1本）

- 取扱説明書（1）
- ソニーご相談窓口のご案内（1）
- 保証書（1）

つなぐ

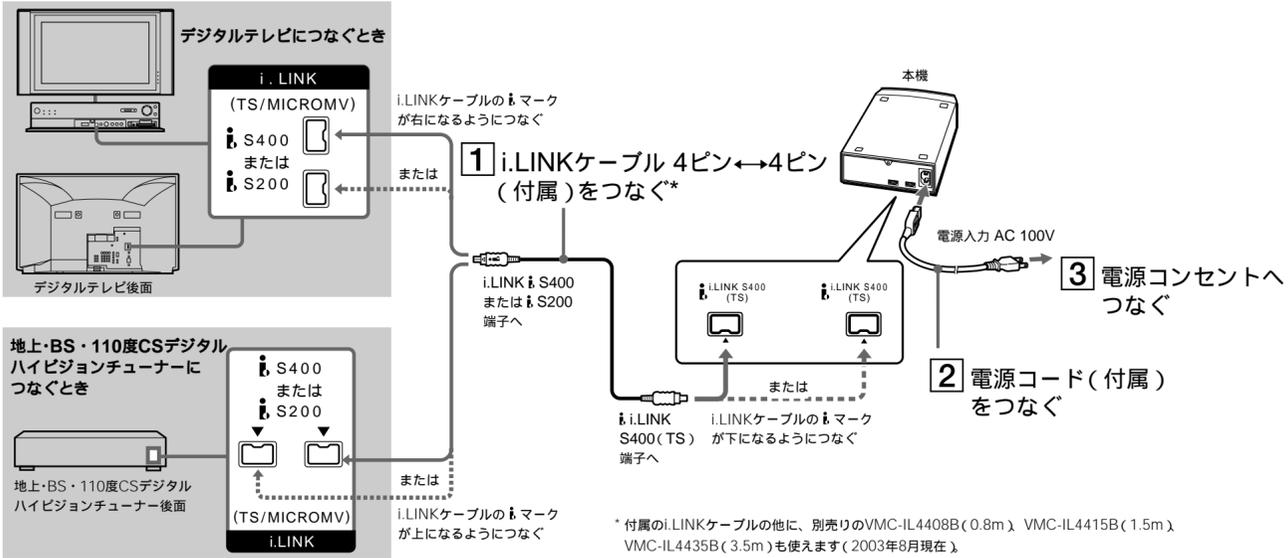
本機をデジタルテレビまたは地上･BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーにつなぎます。
すべての機器の電源を必ず切ってからつないでください。
デジタルテレビまたは地上･BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーの取扱説明書もあわせてお読みください。

ちょっと一言

複数のi.LINK対応機器をつなぐときの接続について詳しくは、デジタルテレビまたは地上･BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーの取扱説明書の「i.LINK（アイリンク）について」をご覧ください。

ご注意

•本機を縦に置いたり不安定な状態で設置しないでください。本機が倒れたり落ちたりしてけがや故障の原因となることがあります。
•本機はコンセントにつないだ状態であれば、電源「切」の状態でも他のi.LINK対応機器の信号を中継することができます。信号を中継せず本機を長時間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

デジタルテレビまたは地上･BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーにつなぐ

* 付属のi.LINKケーブルの他に、別売りのVMC-IL4408B（0.8m）、VMC-IL4415B（1.5m）、VMC-IL4435B（3.5m）も使えます（2003年8月現在）。

本機を2台以上つなぐ

「LINC」する

デジタルテレビまたは地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーが本機を操作できるように「i.LINK」（HDR）操作画面で、本機を選びます。「LINC」は、Logical Interface Connection（ロジカル・インターフェース・コネクション：「論理的な接続を行う」の意）の略です。

「i.LINK Studio」（HDR）操作画面

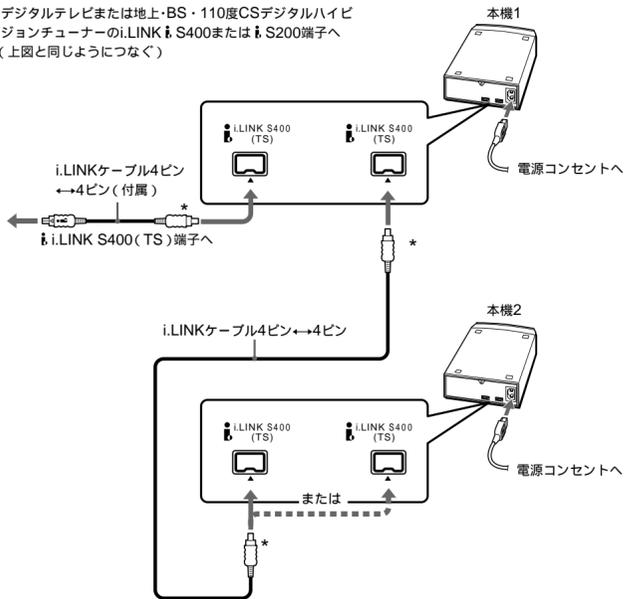
「i.LINK再生」（HDR）操作画面の例

ご注意

録画された番組がない場合、LINC中のデジタルテレビによっては「リスト」が表示されないことがあります。

「i.LINK録画」（HDR）操作画面の例

ご注意

デジタルテレビや地上･BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーの「i.LINK」（HDR）操作画面（上図参照）の「接続機器リスト」に「HDR」が表示されないときは、デジタルテレビや地上･BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーのソフトウェアが最新ではない可能性があります。ソフトウェアのバージョンアップが必要なため、お買い上げ店かソニーサービス窓口またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

操作について

本機には、録画/再生などを行う操作ボタンはありません。
本機の録画/再生などの操作は、つないだデジタルテレビまたは地上･BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナー側ですべて行います。

本体前面

SONY
電源ボタン　録画ランプ

本機の録画状態について

録画ランプ	本機の状態
録画 赤色に点灯	**録画中** 番組が録画されている状態です。 **ご注意** 録画中の状態では、絶対に本機の電源プラグを抜かないでください。

本機の電源状態について

電源ランプ	本機の状態
消　灯	**無通電状態** 電源プラグをコンセントにつながない状態です。
消　灯	**電源「切」（通電スタンバイ中）**（消費電力　約5 W） 電源プラグをコンセントにつないだときの状態です（電源ランプは消灯したまま）。 あるいは、デジタルテレビまたは地上･BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーの「i.LINK」（HDR）操作画面（左頁下参照）にある「電源」ボタンや本機前面の電源ボタンで、本機の電源を切った状態です。 この状態では、デジタルテレビや地上･BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーの「i.LINK」（HDR）操作画面や本機前面の電源ボタンで電源を「入」にする以外、本機の操作はできません。 ただし、通電しているため、他のi.LINK対応機器は本機を中継して信号のやりとりを行えます。 **ご注意** 本機の電源プラグを抜くときは、必ずこの状態にしてから抜いてください。
緑色に1秒周期点滅	**起動中** 起動処理中です。点滅中には操作はできません。
緑色に点灯	**電源「入」**（消費電力　約12 W） デジタルテレビまたは地上･BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーの「i.LINK」（HDR）操作画面（左頁下参照）にある「電源」ボタンや本機前面の電源ボタンで、本機の電源を入れた状態です。 この状態でデジタルテレビや地上･BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーの「i.LINK」（HDR）操作画面を使って、番組を録画/再生したり、録画済みの番組を削除したりできます。「i.LINK」（HDR）操作画面や実際の操作方法について詳しくは、デジタルテレビまたは地上･BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーの取扱説明書をご覧ください。 **ちょっと一言** デジタルテレビまたは地上･BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーの電源を切ったり本機の「LINC」を解除すると、10分後に本機は自動的に電源「切」の状態になります。「LINC」解除について詳しくはデジタルテレビまたは地上･BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーの「LINC中のi.LINK対応機器をいったん解除するときは（LINC解除）」をご覧ください。 **ご注意** 電源「入」の状態では、絶対に本機の電源プラグを抜かないでください。 また、番組の録画/再生/削除中はi.LINKケーブルでつながっている他のi.LINK対応機器の電源を入/切したり、i.LINKケーブルを抜き差ししないでください。本機が破損したり、録画内容が消えたりする恐れがあります。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店かソニーサービス窓口またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。
保証期間中の接続・操作・故障に関するお問い合わせは、お客様ご相談センターにご相談ください。
また、お使いのデジタルテレビまたは地上･BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。i.LINKケーブルで複数のi.LINK対応機器をつなげる場合について詳しくはデジタルテレビまたは地上･BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーの取扱説明書の「i.LINK（アイリンク）について」をご覧ください。

症状 **①本機がデジタルテレビや地上･BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーに認識されない（デジタルテレビや地上･BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーの「i.LINK」（HDR）操作画面で本機を「LINC」できない）または正常に動作しない**

原因／対策

→ 本機とデジタルテレビや地上･BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーの接続が正しくない。
i.LINKケーブルや本機の電源プラグがはずれていないか確認してください。
→ i.LINKケーブルでつながっている他のi.LINK対応機器の組み合わせが悪く動作が不安定になっている。
すべての機器の電源をいったん切り、不要な機器を取りはずして、i.LINKケーブルの接続を確認したあと、再度電源を入れてください。
→ i.LINKケーブルでつながっている他のi.LINK対応機器の電源を入/切した。i.LINKケーブル/電源プラグを抜き差しした。
つながっているすべての機器の電源を切り、一度すべての機器の電源プラグを抜きます。20秒ほど時間をおいてから電源プラグをコンセントに差しこみ、電源を入れ直してください。
→ 静電気などが影響を及ぼしている。
一度本機の電源プラグを抜きます。20秒ほど時間をおいてから電源プラグをコンセントに差しこみ、電源を入れ直してください。
→ デジタルテレビや地上･BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーのソフトウェアが最新ではない。
ソフトウェアのバージョンアップが必要です。お買い上げ店かソニーサービス窓口またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

症状 **②録画できない･再生できない**

原因／対策

→ 録画件数が128件を超えている。
128件を超えると、地上･BS・110度CSデジタルハイビジョン機器の「i.LINK」(HDR)操作画面で「録画」ボタンを選び、リモコンの決定ボタンを押しても、録画できません。
録画件数は、地上･BS・110度CSデジタルハイビジョン機器の「リスト」(番組一覧)画面で確認できます。**128件を超えそうなときは、録画や録画予約する前に録画件数を確認し、不要な番組を削除してください。**
詳しくは、お手持ちの地上･BS・110度CSデジタルハイビジョン機器の取扱説明書の「ハードディスクレコーダー(HDR)をi.LINKで操作する」内「ハードディスクレコーダー(HDR)に録画した番組のリスト(番組一覧)からデジタル再生する[リスト]」をお読みください。
→ 10秒以下の番組を録画している。
地上･BS・110度CSデジタルハイビジョン機器の「i.LINK」(HDR)操作画面で「録画」ボタンを選び、リモコンの決定ボタンを押してから10秒以内に録画を止めたときは、録画されません。
録画をするときは、10秒以上録画してください。
→ 録画したデータ放送やラジオ放送が正常に再生されない。
データ放送やラジオ放送の場合は、地上･BS・110度CSデジタルハイビジョン機器の「i.LINK」(HDR)操作画面で「録画」ボタンを選び、リモコンの決定ボタンを押してから1分以内に録画を止めると、正常に再生されないことがあります。
データ放送やラジオ放送を録画するときは、1分以上録画してください。
→ 接続が正しくない。
i.LINKケーブルがはずれていないか、ループになっていないかなど接続を確認してください。i.LINKケーブルで複数のi.LINK対応機器をつなげる場合について詳しくはデジタルテレビまたは地上･BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーの取扱説明書の「i.LINK（アイリンク）について」をご覧ください。
→ 本機に振動、衝撃が伝わっている。
不安定な場所では使用しないでください。
→ 本機が「LINC」されていない。
デジタルテレビや地上･BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーの「i.LINK」（HDR）操作画面で本機を「LINC」する。
→ 本機がデジタルテレビや地上･BS･110度CSデジタルハイビジョンチューナーに正常に認識されていない。
上段の症状「①本機がデジタルテレビや地上･BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーに認識されない」の原因/対策をご覧ください。
→ 本機のハードディスクの残り容量が足りない。
デジタルテレビや地上･BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーの「i.LINK」（HDR）操作画面でハードディスクの残り容量を確認し、いっぱいならば不要な番組を削除してください。
→ 番組の著作権が保護されている。
著作権が保護されている番組は、録画できません（コピープロテクション）。
→ i.LINKケーブルでつながっている他のi.LINK対応機器の電源が切られていた。電源を入/切した。
一度すべてのi.LINK対応機器を取りはずし、本機1台を直接デジタルテレビまたは地上･BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーにつなぎ直します。そのあと他のi.LINK対応機器もつなぎ直してお使いください。
→ 結露している。
本製品を温度の低い環境から、あたたかい環境へ移動するとドライブの内部が結露している可能性があります。しばらくしてからお使いください。

症状 **③電源「切」でも暖かい**

原因／対策

→ 他のi.LINK対応機器の信号を中継できるように微弱な電流が常に流れています。故障ではありません。

症状 **④電源ボタンを押しても電源が入らない**

原因／対策

→ ハードディスク保護機能が働いている。
一度本機の電源プラグを抜きます。20秒ほど時間をおいてから電源プラグをコンセントに差し込むと、約15秒間、本機は自己診断チェックを行います（この間は電源ボタンを押しても電源は入りません）。自己診断チェックが終わったら、電源を入れ直してください。
それでも電源が入らない場合は、以下のようにディスクを初期化してください。電源コードを一度はずしてから、電源ボタンを押したまま電源コードをつなぎ、そのまま電源ボタンを20秒以上押し続けると電源ランプと録画ランプが同時に点滅します。この状態で電源ボタンをもう一度2秒押すと、電源ランプと録画ランプが交互に点滅し、ドライブは処理モードに入り、初期化されます。
初期化を行うことによって、ドライブに録画された番組は全て削除されます。